

令和5年度 奈良県立香芝高等学校 学校評価総括表(進捗状況)

【高等学校用】

年度	令和5年度(中期計画2年目)
本校の使命(スクール・ミッション)	これまでの本校での取組と成果の上に、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、生徒が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、そして地域から信頼される学校を創り、以下の人材を育成します。 1 人権を尊重し、豊かな人間性と創造性を備えた人材 2 コミュニケーション能力や情報活用能力を備えた人材 3 地域の高校として、地域の未来を担っていく人材
年度重点目標	(1)新しい高校教育への対応 ① 観点別学習状況評価への完全対応 ② 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善 ③ ICT機器を活用した授業の推進・探究的な学習の推進 (2) 自他の生命を尊重する心の育成と、規範意識の向上 ① ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事等を通して、主体性と協調性を身に付け、社会の一員として社会に貢献する意欲と責任ある態度の育成 ② 真やかな挨拶と生活マナーの向上、矯正な制服の着こなしの定着 ③ 交通ルールの遵守を中核に掲げた安全教育の推進 (3) すこやかな心身の育成 ① 運動に主体的に取り組む姿勢の育成と健康の保持増進への実践力の育成 ② 特別支援教育の推進とスクールカウンセラー等を活用した教育相談の充実 (4) 地域から信頼され応援される学校づくりの推進 ① 市の教育関係機関と連携した活動の展開 ② ボランティア活動及び地域行事等への積極的参加 ③ 近隣小・中学校との交流の推進 (5) 教職員の働き方改革への取組 ① ワークライフバランスを意識した教職員の業務改善 ② 定時退庁日(毎水曜日)を意識した業務改善

1 スクール・ポリシーの内容

入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 基礎的な学力が身に付いており、主体的に学ぶ意欲の高い生徒 3 明るく、素直で、チャレンジ精神をもち、社会貢献の意欲が高い生徒
教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、激動の社会に対応できる能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心や進路希望に対応するため、多様な科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、ICTを最大限活用した授業を展開します。 3 情報活用能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育むため、各種活動を重視した探究型の学習を行います。 4 学習意欲の向上を図り、主体的な学び・深い学びに繋げるため、ICTを効果的に活用した授業プログラムを展開します。 5 主体性と協働意識、他者尊重と社会貢献の精神を涵養するため、学校行事や課題活動、ボランティア活動などを計画的に組み入れます。
育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 個人の尊厳を重んじ、礼節を学び、常に和敬の心をもって自他の向上に努めることができる。(和敬) 2 学業に励み、真理を希求し、勤労と責任を重んじ、日々の学びを文化の創造に努めることができる。(創造) 3 常に心身の練習に励み、高い知性と健全な身体を培い、強固な意志とたくましい実践力を身に付けている。(練習)

2 奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	計画期間における具体的目標(B)	令和5年度末の目標値等(C)	現状(令和5年11月現在 参考)	令和5年度末の状況(D)	自己評価(E)	担当分野	学校関係者評価(F)	改善方策(G)
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	新体カテストスコアの校内平均値が全国平均値以上	新体カテストスコアの校内平均値が全国平均値程度				保健体育部		
	望ましい生活習慣の確立	1人あたり年度遅刻回数(怠惰や不注意によるもの)が2回以下	1人あたり年度遅刻回数(怠惰や不注意によるもの)が3回以下				生徒指導部		
	自他を尊敬する和敬の心の涵養	校内生徒アンケートの設問「他人の気持ちを、きちんと思いやる事ができていますか」に肯定的回答が95%以上かつ、「とてもそう思う」の回答が45%以上	校内生徒アンケートの設問「他人の気持ちを、きちんと思いやる事ができていますか」に肯定的回答が95%以上かつ、「とてもそう思う」の回答が40%以上				生徒指導部		
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒授業アンケートの設問「(授業中に)考えたり、活動したりする時間が十分にあった」の評価が全学年で3.5以上	生徒授業アンケートの設問「(授業中に)考えたり、活動したりする時間が十分にあった」の評価が3学年平均で3.5以上				教務部		
	学習意欲の向上	校内生徒アンケートの設問「授業中、充実感を感じていますか」に肯定的回答の割合が全学年で85%以上	校内生徒アンケートの設問「授業中、充実感を感じていますか」に肯定的回答の割合が3学年平均で85%以上				教務部		
	ICTを活用した教育の推進	校内生徒アンケートの情報活用能力に関する設問に肯定的回答が入学時比で20%増	校内生徒アンケートの情報活用能力に関する設問に肯定的回答が入学時比で15%増				教育企画部		
	読書活動の推進	月に全く読書をしない生徒の割合50%以下	月に全く読書をしない生徒の割合60%以下				文化図書部		
	学校における働き方改革の推進	教職員の年休取得が平均14日以上	教職員の年休取得が平均13日以上				教頭		
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップまたはアカデミックインターンシップの参加者が年度50人以上	インターンシップまたはアカデミックインターンシップの参加者が年度40人以上				進路指導部		
	地元企業等との協働事業の実施	相互交流事業を年度計5回以上実施	相互交流事業を年度4回以上実施				教頭		
	キャリア教育の推進	外部講師または社会人講師によるキャリア教育講演会を年度3回以上実施	外部講師または社会人講師によるキャリア教育講演会を年度2回以上実施				進路指導部		
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会を年度3回開催	部会の設置				教頭		
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」のフィールドワーク及びプレゼンテーションを年度計3回以上実施	「奈良TIME」のフィールドワーク及びプレゼンテーションを年度計各1回以上実施				第1学年		
	地域の学校との交流の推進	相互交流事業を年度計5回以上実施	相互交流事業を年4回以上実施				教頭		
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の推進	人権学習ホームルームの事前職員研修及び外部講師による人権講演会等を年度計5回以上実施	人権学習ホームルームの事前職員研修及び外部講師による人権講演会等を年度計4回以上実施				人権教育部		
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	校内生徒アンケートの設問「いじめや差別のない学校だと思える」に肯定的回答の割合が95%以上	校内生徒アンケートの設問「いじめや差別のない学校だと思える」に肯定的回答の割合が85%以上				生徒指導部 人権教育部		
	特別支援教育の推進	教育相談・特別支援教育委員会を年度5回以上開催	教育相談・特別支援教育委員会を年度3回以上開催				人権教育部		

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--